

○【報告】

神戸市都市計画マスタープランの改定について

1. 概要

次期神戸市総合基本計画の検討状況をふまえ、令和7年度（2025年度）末に目標年次を迎える「神戸市都市計画マスタープラン（平成23年（2011年）3月策定）」の改定を行う必要がある。

策定以降の神戸市を取り巻く社会情勢の変化や都市計画に関連する事業の進捗状況を振り返りつつ、神戸市の都市計画に必要な観点や基本的な方針を端的に示した新たな計画の検討に着手する。

2. 都市計画マスタープランの位置づけと役割

- ・神戸市総合基本計画の部門別計画として定めるもので、都市計画決定や地域のまちづくりなどの指針としての役割を担う。
- ・計画期間は、新たな神戸市基本計画と同じ10年間（令和17年（2035年））とする。

3. 改定の視点

- ・令和17年（2035年）における目指すべきまちの姿を市民等と共有し、その実現に向け、エリアの特性に応じた都市づくり・地域づくりを推進する。
- ・神戸市総合基本計画等と相互に連携しながら、関連する複数の計画を統合し、簡素化・集約化を図る。

4. 今後の進め方

- ・神戸市議会基本条例に定める報告を行うほか、市議員等で構成される神戸市都市計画審議会で諮問等を行う。
- ・計画素案及び計画案の各段階において、市民から幅広く意見募集を行う。

《スケジュール（予定）》

令和6年度（2024年度）		令和7年度（2025年度）	
上半期	下半期	上半期	下半期
策定方針報告	骨子報告	意見募集	計画案報告 意見募集 計画報告・策定

※市民や議会、都市計画審議会の意見を伺いながら検討を深度化